

グリーンカップ首都圏オープン5月2024

2024年2月27日作成

【大会要項詳細】

大会名称： グリーンカップ首都圏オープン5月2024
主催： 関東テニス協会
共催/運営： グリーンテニスプラザ
公認： 公益財団法人 日本テニス協会
ポイント： J1- 1
競技日程： 男女本戦 2024年5月27日(月)～5月31日(金) 予備日6月1日(土)

5月	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)
男女シングルス	1R	2R	QF	SF	Final
男女ダブルス	-	1R	QF	SF	Final

※天候その他やむを得ない事情により、大会要項の内容を変更する場合があります。

コート： ハードコート
参加資格： (公財)日本テニス協会 トーナメント管理規定による。
ドロー構成： (公財)日本テニス協会 J1大会管理規則(別表)による。

種目	本戦	
	シングルス	ダブルス
男子	32	16
女子	32	16

大会グレード及び選考基準： (公財)日本テニス協会J1大会管理規則による。

参加料： 本戦単 各10,100円
本戦複 各5,050円

※ ワンコイン制度: 本大会はワンコイン制度対象大会です。
参加料には、各種目ワンコイン制度金100円が含まれております。

申込方法：

JTAプレイヤーゾーン(<http://jta.tournamentsoftware.com/>)にアクセスしてください。
JTAプレイヤーゾーンを初めて利用する場合は、「新規ユーザー登録」からアカウント作成の上、ログインしてください。大会ページにて、「この大会にオンラインでエントリーする」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってエントリー手続きを完了させてください。エントリーが完了すると通知メールが届きます。
※ ダブルスは、選手一人ずつエントリーし、各々互いをパートナーに指定するとエントリー成立となります。

オンラインエントリー期間： 2024年3月11日(月)0:00 から2024年5月6日(月)13:59迄

オンラインウィズドロー期間： 2024年5月20日(月)13:59迄

※ 以降に欠場する場合は、理由を添えてグリーンテニスプラザに
FAX(048-295-6165)をして下さい。
この通知以外の選手は全員出場とみなします。

支払方法： JTAプレイヤーゾーンからエントリー申込の際、画面の指示に従って支払いを行ってください。
(クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済)

オンラインエントリー期間(支払期限)までに入金を確認できない場合、エントリーは自動キャンセルされますので、ご注意ください。

※ オンラインウィズドロー締切後に、キャンセルされた場合ご返金できません。

選考結果： 5月23日(木)に当プラザホームページ (<http://www.greentennisplaza.com/>)にて発表予定です。

本戦ドロー作成： 5月24日(金)14:00以降に大会本部にて行います。
作成後、当プラザホームページ及び
JTAプレイヤーゾーン(<http://jta.tournamentsoftware.com/>)にて発表予定です。

試合方式： 本戦 { シングルス 3タイブレークセット(ノーアドバンテージ)
ダブルス ノーアド 1セットオール後10ポイントタイブレーク方式

使用球： ダンロップ・フォート 本戦 2球使用9-11チェンジ

大会会場： グリーンテニスプラザ(<http://www.greentennisplaza.com/>)

〒334-0057 埼玉県川口市安行原1646 TEL 048-295-6000

※ 駐車場： お車でお越しの方は、当日フロントにて駐車料300円/1台をお支払いの上、車の
(有料) ダッシュボードに駐車券を置いて下さい。駐車スペースに限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用して頂くか、お乗り合せにご協力下さい。

交通案内： お車の場合 外環自動車道草加I.C.よりR4を東京方面へ、北谷町交差点を右折。
 環7通り梅島陸橋R4を春日部方面、北谷町交差点を左折。
 首都高川口線安行I.C.より吉岡交差点を右折、安行中脇交差点を右折、
安行小南交差点を左折、一つ目の信号を左折。
電車の場合 JR京浜東北線 川口駅下車、東口よりバス約30分
 東武伊勢崎線 草加駅下車、西口よりバス約15分
 東武伊勢崎線 松原団地駅下車、タクシーで約10分

宿 泊： ◆ 東横イン草加駅西口 (<http://www.toyoko-inn.com>)

〒340-0034 埼玉県草加市氷川町2124-15

TEL : 048-920-1045

※ 当会場までは、バス草加駅西口2番安行出羽行き/安行北谷中央下車(徒歩5分)

ディレクター： 飯塚 綾子

レフェリー： 飯塚 義弘 (B級レフェリー)